

認知症初期集中支援チームによる支援の流れ

支援期間

支援の流れ

支援内容

開始

相談

認知症の症状で、日常生活のお困りことや生活に支障があるのかななどを、本人や家族と相談していきます。

支援の
同意

認知症初期集中支援チームのサポートの同意を頂き、サポートを開始します。概ね6カ月以内を目安に支援を行います。

家庭
訪問

ご自宅に認知症初期集中支援専門メンバーが、訪問をさせていただきます。今のお気持ちや生活状況、お体の状態について教えてもらい、必要なサポートと一緒に考えます。

1カ月

チーム員
会議

①交野市認知症サポート医（6名：輪番制）
②認知症初期集中支援専門員（看護師、社会福祉士など）③事務局員④訪問看護ステーション連絡会推薦者のメンバーにて、より良い生活に向けて必要なサポートを毎回の会議で検討します。

支援・対応策協議

毎月一回会議開催

対応策
実施

チーム員会議で検討した内容に沿って、本人や家族の状況に応じて専門医受診や介護サービス利用のサポートをします。今後の見通しや対応方法についてもアドバイスします。

6カ月

チーム員
会議

メンバーにて協議
医療と介護につながり、在宅生活が続けられる目途が立てば、認知症初期集中支援事業の関わりは終了となります。

終了

サポートが終了した後、必要に応じて、病院、ケアマネジャー、チームオレンジ、地域包括支援センターに引継ぎ、今後相談できる場所を作ります。

2カ月後
評価

生活環境の安定性が継続できているかを確認し、チーム会議で評価を行います。